



MEDICAL OFFICE

医療の最前線からのワンポイントアドバイス

脳梗塞も“FAST”

医学部 教授（神経内科学）

中原 仁

脳梗塞とは脳の血管に血栓（血のかたまり）などが詰まることにより、脳の一部が壊死する病気です。日本では毎年約6万人の方が脳梗塞で亡くなっており、多くの方が後遺症に苦しんでいます。脳梗塞自体は季節性なく発症しますが、特に冬は重症者が多いと言われており、十分な注意が必要です。

脳梗塞の治療は時間との闘いです。

“Time is Money”（時は金なり）に擬えて、“Time is Brain”（時は脳なり）とよく言われますが、発症から4・5時間以内であれば血栓を溶かす点滴の薬があります。発症から6時間以内であれば血管にカテーテルを入れて直接的に血栓を取り除ける可能性が高くなります。最近では発症から24時間以内であれば、一定の条件を満たせば、カテーテルによって血栓を取り除くことも検討されるようになりました。いずれにしても治療が早ければ早いほど後遺症は軽く済

みます。ですから脳梗塞を疑ったときには、様子をみるのではなく、すぐに救急車を呼ぶことが重要です。脳梗塞の治療には専門の技術を持った医師が必要ですから、夜間や祝日にも対応できるように、多くの地域では輪番制になっています。ですから、かかりつけの病院に自力で行くよりも、救急車を呼び、その日の当番病院へ搬送してもらう方がより確実です。

とは言いつつも、脳梗塞か疑心暗鬼な中で救急車を呼ぶことは躊躇われることも理解できます。そこで“FAST”という言葉を覚えておいてください。F（Face）は口角が垂れて涎が出たり顔がゆがむことを指し、A（Arm）は腕の麻痺、S（Speech）は言葉が出なくなったり呂律の障害を指します。そしてT（Time）は発症時刻であり、治療をスムーズに行うために、できるだけ正確に記録しておくことが重要です。

F	A	S	T
Face: 顔の麻痺 顔がゆがんでいる。 顔の片方だけが力なく下がる。	Arm: 腕の麻痺 左右平行になるように両腕を上げると、次第に片方が力なく下がる。	Speech: ことば ことばが出てこない。 ろれつが回らない。	Time: 発症時刻 症状に気づいたら時間を確認！ すぐに救急車を呼ぶ。

提供：田辺三菱製薬